

平成23年12月17日
九州森林管理局
屋久島森林管理署

平成23年度ヤクシカ被害対策の取組状況について（概要）

屋久島においては、ヤクシカの生息頭数の増加に伴いヤクシカの過採食による森林生態系へ生物多様性への過剰な圧力がかかっており、特に世界遺産に指定される要因となった植生の垂直分布がみられる西部林道地域においては、表土の流亡が進んでいるなど深刻な状況になる。

このような被害状況に鑑み、関係機関とも連携しながら、以下の内容（項目）のヤクシカの総合的な被害対策の検討を進めているところ。

1. 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業（委託調査事業）

（1）目的

ヤクシカの過採食による被害状況、ヤクシカの生息、移動状況等を把握した上で、森林生態系、生物多様性や国土の保全等の観点から、植生の保護・再生方策、ヤクシカの個体数調整方策等を含むヤクシカに関する総合的な対策の検討、取組を推進する。

（2）調査計画（別添1、平成23年度調査対象地位置図を参照）

① 西部林道地域

- ・ 植生保護・再生方策の検討・実施（設置した植生保護柵（8箇所）の植生調査（モニタリング）と保守点検）、
- ・ 生息状況等調査（糞粒法、スポットライトカウント法）、
- ・ 移動状況等調査（GPSテレメトリーによる行動パターン等調査）
- ・ 捕獲手法（捕獲柵等）の有効性の検討（ビデオカメラによる罠等に対する反応等の把握・分析）と個体数調整方策の検討
- ・ 萌芽枝への食害による更新阻害防止対策の試行・検討

② 南部地域

- ・ 森林環境等調査（植生・群落等の状況、被害状況調査）、
- ・ 植生保護・再生方策の検討・実施（保護・再生すべき個所の抽出と植生保護柵の設置、設置した植生保護柵（9箇所）の植生調査（モニタリング）と保守点検）、
- ・ 生息状況等調査（糞粒法、スポットライトカウント法）、
- ・ 個体数調整方策の検討

③ 北東部地域

- ・文献等調査（シカによる被害・生息状況等に関する各種調査結果等）、
- ・森林環境等調査（植生・群落等の状況、被害状況調査）、
- ・生息状況等調査（糞粒法、糞塊法、スポットライトカウント法）、
- ・移動状況等調査（GPSテレメトリーによる行動パターン等調査）
- ・捕獲手法（囲い柵等）の検討・試行と捕獲効果等に関するモニタリング（植生調査プロットの設置と植生調査）
- ・個体数調整方策の検討

④ 共通的な取組事項

- i 有害捕獲個所における捕獲効果等のモニタリング（大川林道・宮之浦林道・一湊林道の各路線等における糞粒法、スポットライトカウント法による生息密度の調査、植生調査等）
- ii ヤクシカ個体情報の収集（有害捕獲の個体等により全長、体重、性別・齢・胃内容物、妊娠の有無等）
- iii 捕獲柵等に関する捕獲マニュアル（案）の作成
- iv シカの好き嫌い植物図鑑の作成

2 森林整備事業を通じたヤクシカ被害対策

(1) くくりわなを用いた有害鳥獣捕獲の実施

- ① くくりわなによる捕獲を全職員で取り組む。
わなの設置箇所は、事業実行箇所に係る最寄りの林道に設置。
- ② 11月末現在の捕獲頭数は199頭、対前年度比で約57%。（別添、2ヤクシカの有害鳥獣捕獲による捕獲数(国有林)を参照）
- ③ 有害捕獲効果等のモニタリングとして、上記2(2)④iiにより生息密度の調査、植生調査等に取り組む（委託調査事業と連携）。

(2) 造林地のシカネットを活用した捕獲試験（205プロジェクト）

- ① 前年度に引き続き、シカネット（愛子嶽国有林205林班の伐採跡地に設置）を活用した囲い罠を用い、猟友会との今後共同捕獲に取り組む計画。
（※平成22年度に屋久島町及び猟友会（上屋久猟友会、屋久町猟友会）とシカ対策推進協定を締結。）
- ② 捕獲効果等のモニタリングとして、繁茂状況等の植生調査に取り組む（委託調査事業と連携）。

別添2

屋久島森林管理署

平成23年度11月末 ヤクシカの有害鳥獣捕獲による捕獲数(国有林)

(単位:頭)

捕獲場所	雄			雌			雌雄計			捕獲別場所別(%)	妊娠個体
	親	子	小計	親	子	小計	親	子	小計		
北東部・東部 (宮之浦林道・神之川林道 白谷林道・小瀬田林道 船行林道)	46	28	74	42	22	64	88	50	138	69%	2
			54%			46%	64%	36%	100%		
南東部・南部 (中瀬川林道・63支線・湯泊林道)	2	0	2	2	2	4	4	2	6	3%	1
			33%			67%	67%	33%	100%		
西部 (大川林道・小楊子林道・一湊林道)	11	8	19	22	14	36	33	22	55	28%	0
			35%			65%	60%	40%	100%		
合 計	59	36	95	66	38	104	125	74	199	100%	3
雌雄比(%)			48%			52%			100%		
雌雄の親子比(%)	62%	38%	100%	63%	37%	100%	63%	37%	100%		
対前年度捕獲実績			171			181	280	72	352		
対前年度比(%)			56%			57%	45%	103%	57%		

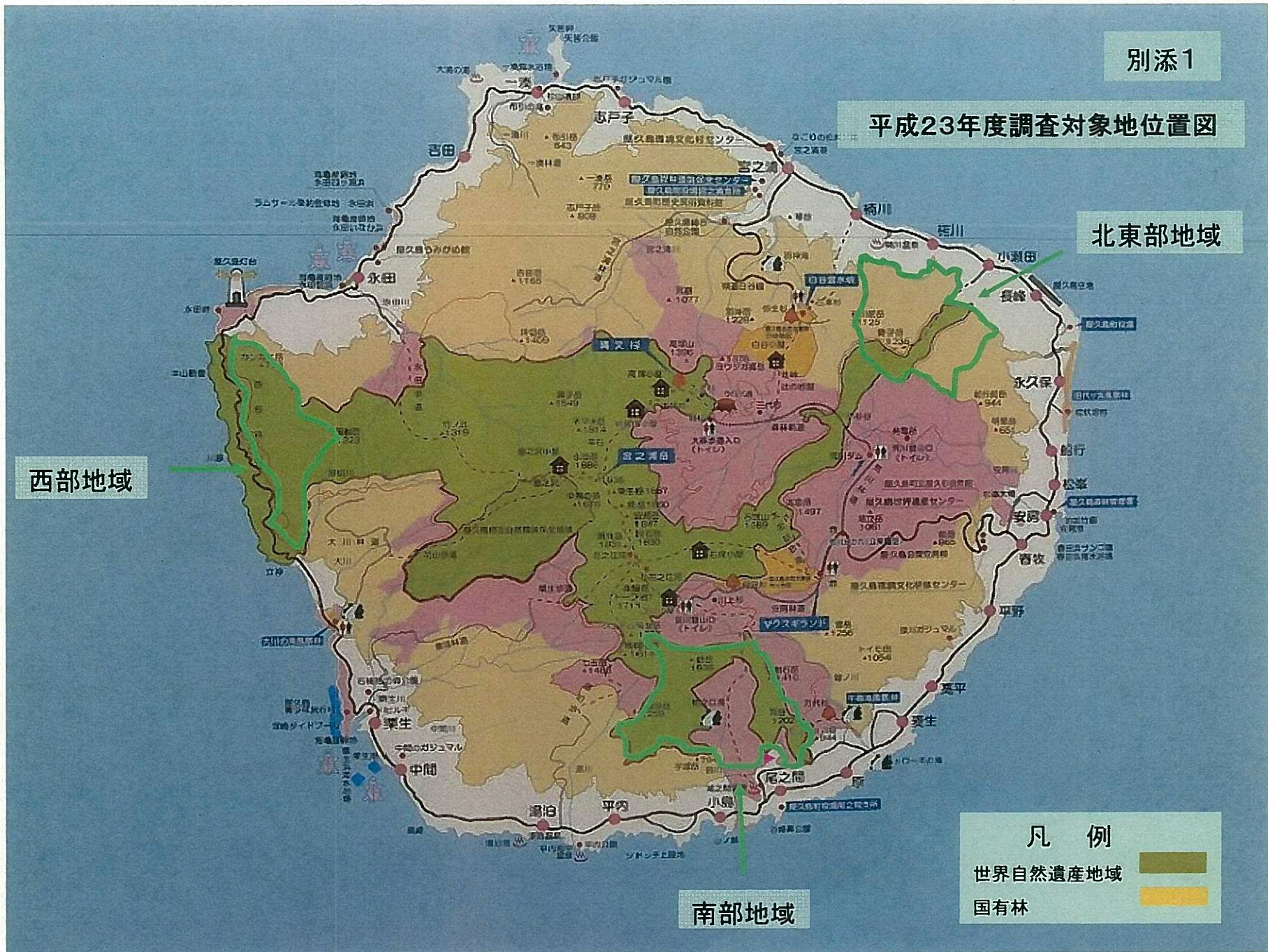
- (適要) 1 捕獲の期間は、平成23年5月～平成23年11月。
 2 上記欄中の下段の%は、捕獲場所ごとにおける雌雄比及び親子比を表す。
 3 捕獲手法は、くりわなによる捕獲。
 4 妊娠の有無は、目視による。

平成23年度調査対象地位置図

北東部地域

西部地域

南部地域



凡例

- 世界自然遺産地域 (Green outline)
- 国有林 (Yellow fill)